



御下問奉答

明治三年五至七月

服部元彰

明治三年七月

服部文庫  
イ 17  
2189  
66



117 特  
2189  
66



御規則ノ儀今般ノ御體裁不奉伺候付只既往ノ振ヲ

以テ一二愚見奉申上候

今般議員共實地適用ノ議事相互候様態ニ御示諭  
相成誠以難有御趣意議員一同猶更奮發勉勵  
仕候ニ勿論ノ儀ト奉存候就テ以來如何様ノ御體裁  
ニ相成美歎ニ不奉存候ニ於 朝廷ニ集議院ヨリ申  
上候衆議ノ處可相成丈ニ御採用被成下御採用ノ分  
ハ其段御垂示可被成下御採用難相成分ニ斯ノ次第  
ニ付御採用不被成旨是亦御垂示成下ナレ候ハ一同ノ  
勵ト相成一段尽力可仕ト奉存候

服部文庫  
117

今般ノ御規則如何様可有之哉昨冬御閉院ノ節議員  
一同御暇被下候此儀如何可有之哉一體議事ノ與  
論公議ヲ被為採候御主意ヲ被為設候儀存重大ノ  
事ニ勿論自然御疑惑ノ事有之節議員ニ御下問ニ  
相成儀ニ可有之然ル時萬機ノ御政當分可議事一無  
之ト豫ノ難定若シ實地ニ議事御用遊ハシレ候ハ御閉  
院相成候共矢張議員一藩一人必都下ニ御備置被遊  
緩急可議事出来候ハ御閉院中タリテ隨即御開  
議事被 仰付候様有之度奉存候尤モ御開院無  
之御閉院毎ニ御暇被下候節臨時ノ儀ニ重大ノ事

件ニ候共輿論公議被為取候儀出来中間敷實地ノ御設  
ト難申欵ト疑惑仕候且議員共議事中暫時在京御  
閉院ヲ隨即歸藩候ハ天下ノ形勢ニ關シ別テ議論迂  
濶ノ患可有之其上ニ度歸藩候ハ至急被 召候トモ  
五十日內ニ揃ヒ候事ニ無覺束ト奉存候  
右議員一藩一人必輦轂下ニ御留メ相成候ハ在留四年ニ  
藩情ニ疎遠ナル弊有之候間年限ヲ縮メ制ヲ被立置其  
交代進退等ニ藩知事ニ御委任可然候藩政取扱藩  
情熟知者ニ候ハ必交代致シ候ニモ不及事有規則ノ藩知事奉存候  
尤蒸氣車道天下ニ出来候上ニ出入交通モ容易ニ候

一  
へ氏即今ノ姿ニテハ出入交遊ノ冗費不少公解ノ會計ニ於  
テ又顧慮可ハ事ト奉存候

幹事部長ヲ廢シ御布告向ニ二十四藩公用人ノ關係ニ改メ  
可然ト申説有之哉ニ承候此儀ハ不可然ト奉存候總シテ  
人教管轄候ニ必編制ノ法無之テハ不斗事ニテ既ニ昨年  
中急議事ノ節一向不存議員モ多ク有之不都合ノ  
次第付十二部ノ組立ニ相成御布告等瞬息ノ間ニ行  
届候事ニ相成未其害見へ不申候今又二十四藩ノ管轄成  
候ハ觸頭ト觸下ト居所隔遠ノ向多ク有之自然至急  
被 召集候トモ必行届申間敷候實地ノ御議事ニ

至急ノ事無之ト雜申ト奉存候

但シ幹事ノ廢置ハ別ニ異見無之候

總テ御規則ハ害アルハ改メ不便利ナルハ改メ別ニ良法アルハ  
改メ候ニ仔細モ無之候へ氏害モ無之別ニ良法アルモ無之ニ  
容易ニ改メ候事ハ不可然奉存候

庚午 五月

尾崎藩議員 服部清三郎

長官公閣下



茅一條

一 後方之草高五萬石以上ヲ藤ト稱スルノ例ニ從ヒ  
現米萬石以下ト雖モ藤ト稱ス可キト奉旨

茅二條

一 及高草數尺移スルトモ材高ハ後方ノ例ニ從ヒテ  
差量相成ニ儀ト奉旨

茅三條

一 少草ニ奉旨

一 藤ノ法程ノ定例ニ側一程ノ草スル藤ノ  
適宜ニ任ス可キト奉旨

一 大層以下位階府縣同考上奉也  
一 高層ノ士階ノ任任部ハ卒ノ任上奉也  
一 大層ノ卒ヨリ高層ノ士ハ改階ノ上考ノ上奉也  
其階隊長以下ノ職員ノ学校教授助教助教或ハ  
地方ノ士人ノ教階級ニ高層ノ適宜ニ可被任候  
上奉也

茅四條

一 五ノ一海軍ノ考ニ高層ノ置出兵ノ其外平々  
係連ニ我並ニ一切ノ用途相弁ニ候上奉也  
但後東ノ軍費金ニ相止ニ候上奉也

茅六條

一 代増福ノ類モ  
朝裁ノ可請候上奉也

茅七條

一 士卒ノ家福ニ滿ルノ適宜ニテ等級ニ二考外  
無ク候上奉也  
右ノ通相上候可也上奉也

庚午 六月

議員 下

長官 閣下

御札

第三條

一 艦艇ニ乗到スルハ大参事ノ職ニテ少参事ハ右ノ掌事ニ到ル所アリ(キ事)

一 隊長以下ノ職員并学校教授等ハ兵部省大学

ニ於テ御<sup>新</sup>一定ノ上被 仰出候間當分従前ノ

様可相心得奉

第四條

海軍

一 朝廷ニ於テ一途御振張可相成ニ付五分ノ一半高

○

朝廷ノ海軍ニ備ハ半高ヲ藩ノ陸軍ニ備ハキ御目的ノ事

允右ノ御趣意ニ付衆議可及事

其餘條ニ伺之通

追加

士卒家禄ニ係ル者ハ唐目途ニ付テ今抄御以

庚午 六月

集議院

御札

平均或允事分ニテ公解ニ充裁分御以テ家禄ニ充或ハ便宜ニ從テ等孰シカ可<sup>レ</sup>孰<sup>レ</sup>否<sup>レ</sup>御以

之受被  
園食以上所受乞了各事



尼崎 服部清三郎

第一

小藩人ハ大藩ノ體ヲ詳ニ云大藩人ハ小藩ノ情ヲ  
悉サス各其適宜ヲ知ラサルハシ向題三試ニ要意  
ヲ以其大際ヲ推定ムル如左

大参事 大藩中藩二人 小藩一人

掌参判藩内庶務

権大参事 大藩二人 中藩三人 小藩二人

掌同大参事

少参事 大藩七人 中藩五人 小藩三人



掌分科紀判藩内庶務

推少参事

無定員

右三掌同少参事減スルハ随意タルヘシ多キモ此數ニ過ヘカラス  
議員ハ定員ノ外タルヘシ

但シ員外タリハ職掌ニ異ナシ

第二

藩ニ貧富ノ不同アリ従前ノ祿ニ多寡ノ不均アリ  
概シテ一定シ難カラシ今度藩知事ノ家祿従  
前ノ祿ヲ用ヒテ其十分一ト減セラル獨リ士族ノ  
従前ノ祿ヲ減全不問ハ理ニ於テ不可ナリ適宜

ニ減セヨト

仰出サレタルコト御至當ト云ヘシ

第三

朝廷位祿職俸御一定ノ日ソシニ準シテ定ムルニ  
非レハ目的ヲ立難シ

七月廿二日

尾崎 服部清三郎



御下問奉答

茅一條

一 上邊ノ為三三

異論ナシ

茅二條

一 石高實教ニ

衆況異論ナシ

別況

五々年平均高實教ヲ以テ稱スルト改ムヘシ

三春

八兩相傷ノ儀後來物價大異度アラハ改定ル可  
人吉 龜山 野村

茅三條

一藩廳云々

權大冬事小藩之ヲ置テス

右

小藩ハ口權大冬事合テ三人ニ返キス

右ノ通改ムヘシ

其他衆說異論ナシ

別說

小藩權大冬事無之テ不相叶向願ノ上  
差許シ定規ハ御下向ノ通ルヘシ

高鋸

大属以下官員ノ数モ畧定アルヘシ

軍岡

藩掌ハ廳掌ト改ムヘシ

菊間

茅四條

一藩高云々

全體ノ脚趣ニ忌衆說異論ナシ

但唐情異同列氏ノ道

茅五條

一官祿云々

大畧異論ナシ

別記

官祿大綱領官ヨリ相定テ細目ニ各唐ノ  
便宜ニ任テ之

三也 三向 龜山下館 加那 神戸 後部

鶴舞 芝川 与板 龜岡 宮津 高鍋 穴保

西大平 川越 小濱 大綱 太喜 金沢 高田

長尾 富山 桐倉 庭殿 高梁 村松 壬生

大野云

茅六條

一 切有テ祿ヲ増シ云々

茅七條

一 士卒二十ホノ外云々

右二條異論ナシ

茅八條

一 正權大奉事ノ中云々

家記異論ナシ

別記

大冬之事交代、制之五十年、  
茶ハルハシ 高島

一 茶九條

一 公用人、稱呼ヲ度ニシテ

一 茶十條

一 茶事朝集ニシテ

一 茶十一條

一 茶事入字中ニシテ

一 茶十二條

一 臣等所請條ニシテ

右四條ニシテ

一 茶十三條

一 臣等所請ノ紙幣ニシテ

衆議ニシテ

別記

現新紙幣此條ニシテ、  
聖精ニ取調致 何々

山口島原 高知豊浦 徳山 岩國

清米曰杆

ハ使ラズ紙布ニ然ル後藩ノ指帶ヲ引替サレハ民間  
部通差支エハシ

小濱 豊岡 柘原 西條 田原

紙幣モ藩債ノ款ヲ十ノ一知事家祿ノ内ヨリ  
引替然ルハシ

柘本 高鍋

支帯頒布足ラサル故ニ藩ノ紙幣ヲ廢スレハ民  
間ノ便宜ヲ失ハシ

延岡

第十四條

一 家人職員ニシテ

異論ナシ

茅四條別紙

無異論ナシ

鹿島	湯長谷	松江	加知山	菰野	淀	龜山
篠山	七ノ戸	金澤	高田	富山	高梁	村松
大聖寺	壬生	廣瀬	志筑	黒石	小久保	柳生
櫻井	延岡	菊間	郡上	西端	館山	神戸
日出	西大平	長尾	半原	花房	福井	彦根

長岡	岸智	伯太	久留里	丸岡	水口	野村
高鍋	唐津	松本	大垣	津山	加納	西尾
峯母	弘前	姫路	笠間	小諸	久居	桑名
勝山	村上	川越	熊本	膳所	柳川	泉
大野	下妻	中津	吹上	小城	天童	山上
島原	館林	綾部	郡山	大溝	府内	奮部
岩槻	栗路	豊橋	鶴牧	宇智島	津野	龍野
八戸	堀江	岡崎	忍	大村	烏山	龜田
柏原	鴨方	与板	館	福知山	名古屋	長島
苗木	中村	黒川	黒羽	松代	吉見	柴村

飯田	林田	高取	高德	鶴舞	小泉	足守
三池	千束	高槻	徳島	佐原	三草	母里
今治	津	岡山	大多喜	一宮		

當八分一余往之本数ニ後ノ藩ニ

福山 峰山

當八分一往之本数ニ後ノ藩ニ

三市	丸龜	豊岡	牛久	水戸	土浦	関宿
古河	麻生	小見川	多古	生實	下館	宍戸
守山	伏倉	高岡	三春	飯山	田邊	磐城
蓮池	福江	飯野	人吉	園部	浅尾	吉田

二本松	一岡	鞆山	小濱	田原	山形	刈谷
甘南	新庄	松嶺	麻田	宮川	赤穂	沼田
高崎	福岡	宇都宮	重原	西條	村岡	久保田
伊勢崎	前橋	三根山	結城	松岡	佐伯	山家
本庄	杵築	三田	六浦	新谷	安中	大洲
岡	柴山	安志	小幡	籍江	白原	白杵
新見	成羽	清崎	足利	佐野	鳥羽	七日市
廣瀨	大山	高須	矢島	平戸	明石	佐賀
静岡	山口	鳥取	高知	豊浦	徳山	岩園
清末	椎谷					

當分十卷一漸、本教ニ從テ見込ノ藩、  
 新宮 山崎 高島  
 當分廿卷一往、本教ニ從テ見込ノ藩、  
 宋澤 岩村 佐貫 高遠 萩中 龍岡 須坂  
 柳本 新奈田 多度津 岩村田  
 先々後前ノ軍資金ヲ以テ海軍費用ニ供テ藩治  
 漸ク整テ待テ本教ヲ徴セト欲ス藩、  
 真島 岡田 上田 三日月 鶴田  
 目今指込ノ目途無ク往テ本教ニ從テ藩、  
 龜岡 出石 棚倉 大泉 太田原 高富 廣島



永世七八分見込  
飲肥

一 別系奉答

府縣貫属ノ禄制ニ比較スヘシ

津 一関 高槻 小野

三ヶ寺ニ制ヲ立ツルヲ可トス

中濱 田原 菰野 新宮 米沢 下館 村岡

長尾 柳川

二三ヶ寺ノ制ヲ立ツルヲ可トス

新見 成羽 大寺喜 小幡 福岡

四五ヶ寺ノ制ヲ立ツルヲ可トス

篠山 三日月

藩ノ適宜ニ任スヘシ

鞠山	秋月	高遠	須坂	龍岡	岩村田	柳本
岩村	久米	廣瀬	犬山	福山	七日市	鳥羽
福井	山形	鹿島	湯長谷	小泉	松代	西碓
佐野	水口	柏原	沼田	三春	中村	籍江
府内	山家	伏倉	中津	飯野	島原	三草
福江	佐原	延岡	尾崎	山崎	大野	志筑

熊本	山上	天童	吹上	小城	郡上	新庄
西條	金沢	高田	大聖寺	棚倉	庭瀨	高梁
村松	三田	林田	土浦	壬生	鶴田	梓築
高島	丸岡	麻田	飯山	松嶺	黒羽	旅野
白杵	人吉	蓮池	柳生	佐賀	鉄肥	丸龜
大中小藩現石高三成一定ノ令下ル						
龍野	新茶田	出石	大妻喜			
祿制ノ等級下ル						
彦根	長岡	岸和田	伯太			
千石人員何程下定ノ餘ノ府縣貫屬下成ニ歸農						

セシム

櫻井

平均ヲ可トス

膳所	小見川	花房	一宮	高鍋	龜山	湊
豊岡	徳島	野村	松本	大垣	加納	姫路
西尾	笠間	小諸	桑間	桑名	加知山	久居
唐津	小久保					
漸ヲ以テ平均セヨト令ス						
館山	久留里	今治	三池	鶴舞	綾部	龍野
岡	丹南	半原	村上	津和野		

平均ヲ可トス然レトモ華族ヲ始メ一定ノ制ニテ  
適宜ニ任スルニ

出田 上田 高崎 真島 高崎 柴山 吉見  
宮川 刈谷

府縣貫属平均ニテ適宜ニ任スルニ

宮津

廩米ノ半ヲ減シ土着ニテ自給セシムルニ

前橋

昨年藩ニ改革調書ヲ折中セ至當ノ制自ラ立テ  
矢島

去年改革ノ終ニテ可ナラシ

浅尾 牛久

華族ノ家禄ヲ平均シテ後ニ士卒家禄ヲ平均スルニ

富山

来ルニ日衆議奏答可致ト事

二庚午七月

長官

左ノ藩ニ再議節不參并議脱之向有之矣  
書加交事

石岡 木林 吉田 大綱 豊津 尾崎  
高鍋 福松 高知

